



ウーマンアグリネットおおいた 会報誌

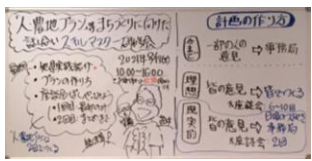
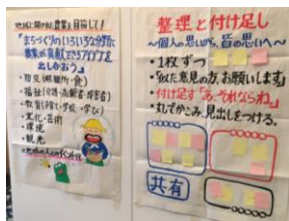
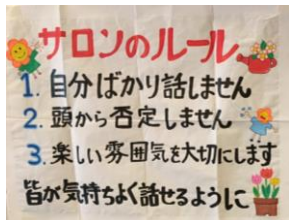
V O C E

令和3年度初号

ヴォーチェ



「ヴォーチェ」はイタリア語で「声」



人・農地プラン等まちづくりに向けた話し合い
スキルマスター研修会

講師の紹介



小野寺 郷子 氏
会議ファシリテーター
普及協会 副代表



会議の達人
釘山 健一 氏
会議ファシリテーター
普及協会 代表

農業委員会に求められる「人・農地プランの実質化」を進めるには、農業委員・農地利用最適化推進委員が地域の意向を引き出すスキルを身につけることが必要！
ということと、地域の話し合いの中で特に活躍が期待される女性委員のみなさんに最新の会議の技術が学べる「スキルマスター研修会」に参加していただきました！6月21日に基礎編、7月13日と8月17日に実践編の全3回で行われた研修会。
今回はその様子をご報告します！

どんな研修会なの？

参加者(みんな)が納得する「全員参加型」の話し合いの方法!! 「ファシリテーション」を学ぶ研修会です。よくあるのが、一部の人がしか発言しない話し合い。でも、それでは「人・農地プランの実質化」は上手くいかず、何より楽しくない。

そこで、最新の会議の技術「ファシリテーション」の参加者全員の意見を引き出しまとめるコツを学んで、地域の話し合いに生かそうとするものです。

研修内容は？

〈基礎編〉①話し合いの雰囲気を作るコツ②参加者全員の意見を引き出すコツ③意見を整理するコツ④意見をまとめていくコツ⑤話し合いのルールづくり⑥時間を管理して目標を達成するコツーなどを学びました。

〈実践編〉「遊休農地活用の楽しいアイデアを出し合おう」をテーマに、グループに分かれアイデアの出し方について学んだり、実際の農地地図などを基にプラン作りに挑戦しました。

実際の進め方

①話し合いの場づくり

テーブルにクロスを敷き、花を飾るなど、明るい雰囲気を演出します。お菓子を用意するのもGood!

②テーマについてアイデアの書き出し

一人ひとり付箋などにアイデアをたくさん書いていきます。

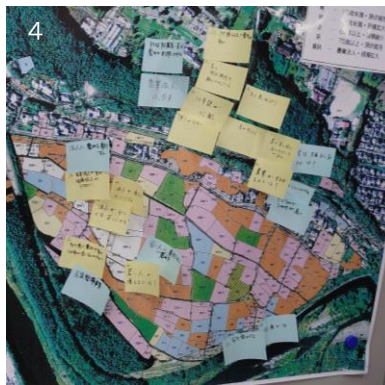
③アイデアの共有・整理・分類

アイデアを共有し、種類ごとに分類・整理。新しいアイデアを追加していきます。アイデアの否定はNG!

④最終的なまとめ

投票などで最終的な合意形成を図ります。全員の意見の集約なので、納得感の強いものになります。

※全体を通して時間管理が重要です



1 第1回目「全員参加型の楽しい会議づくりのアイデア」出し合い

2 第2回目「遊休農地活用の楽しいアイデア」出し合い

3 第3回「地域の未来の農業を担うアイデア」出し合い

4 地図に付箋を貼り、アイデアを共有します

二宮 ナミ子 さん（大分市農業委員会）

●スキルマスター研修会に参加した感想をお聞かせください。

全国的に人気のスキルマスター研修会ということで、とても興味があり参加しました。「対話によるまちづくりの達人」と呼ばれている代表の釘山氏、副代表の小野寺氏の2名が講師として来られ、会場は手書きの資料がいっぱいで、今までの研修会とは全く違う雰囲気になりました。

出席した県下の農業委員さんたちと6グループに分かれて自己紹介の仕方、座談会・話し合いのルール、課題解決などを学び、楽しい研修会でした。

●最も印象に残ったこと、学んだことは何ですか。

最初に講師の方に研修会のアドバイスを受けました。なごやかな雰囲気の中、グループごとの自己紹介は和気あいあいとでき、改めて会場の雰囲気作りの大切さを感じました。

研修で未来の農業を語る時のキーワード、関係者に説明するポイントを学んだ後、机の上の大きな模造紙に自分たちの思ったことを書き込んだり、付箋を貼り付けたりして、グループごとに発表をしました。それぞれの発表がとても素晴らしく、多くのことを学びました。

●研修会を受けて、今後取り組みたいことを教えてください。

今回の研修で、まちづくり、人・農地プラン、中間地活性化がどのように進められているかを学びましたが、本当に大変だと感じました。すでに県下では、人・農地プランの実質化活動が行われている地域もありますが、中山間地はプランの実質化に向けた集落座談会がまだ進んでいない気がします。難しいことですが、地域の方と何度もプランの実質化に向けた座談会をし、問題などを話し合い、解決に向けていけたら良いと思っています。



- 1 第2回目「遊休農地活用の楽しいアイデア」発表
- 2 第3回「地域の未来の農業を担うアイデア」発表
- 3 第3回目投票の様子

実際に出たアイデアの一部をご紹介します

遊休農地活用の
楽しいアイデア

未来の農業に向けての今後の
取り組み

山に鯉・恋・来い!



畑に保育園



桜のビュッ
フェ公園



OIT18(オー
ティエイティーン)



「結果発表」
素敵なアイデアがたくさん！！



私のVOCE



コロナ禍で集まることができず、会員さん同士の交流ができない1年でした。ということで、紙面を通してなかなか会えない会員さんのことや、活動などをご紹介します。みなさん、元気に活動されていますよ☆

西村シズエさん (姫島村農業委員会)

「姫島村の会員さんのことを知りたい」という声にお応えして、声を届けてくれました。

皆さん、こんにちは!! 姫島村の西村です。島のチャキチャキババです(笑)。子供の頃から農業を手伝っており、芋・ムギを作っていました。当時は田んぼが無かったので、米が少し入ったムギごはんを食べていました。牛を飼っていた時もあります。牛は今で言う豊後牛です。少しは現金収入があったことを覚えています。中学生頃には牛もやめ、ムギに替わり大麦を作り、うどんや餅を食べていました。

高校卒業後、2年間別府で働き、島に帰って結婚をしました。子育てが終わり、両親を見送ってから、母の後を継いで農業をしています。ばあちゃん達にならない、その時期々の野菜を少しづつ収穫出来たときは嬉しかったです。そして4年前、区長さんより農業委員の話を聞きました。驚きましたが、チャレンジしてみようと思い、お受けしました。先輩の農業委員さん達と共に、今年も楽しく活動しています。



今、世界中で話題のSDGs。人類が地球で暮らし続けていくためにすべきことについて、声を届けてくれました。

本郷敦子さん (竹田市農業委員会)

皆様、お元気でお仕事に、ボランティアに：忙しくまたゆつくりの生活をお過ごしのことと思います。

ねえねえ、教えて? 「山の日」「海の日」と祝日がありますよね。でも、「川の日」の祝日はありますかしら? 山から川、そして海へ。大空から山に返って：とくり返しくり返しの日々です。でもそんな中、一つが狂ってきたら、私たちは生きていけるのかしら。

- ① 森林を片っ端から伐採し、植樹もしない
- ② 田畑を維持管理する気力なし (もう年だから)
- ③ 海にきれいな水を送れない (ポイ捨て物品)

こんな時代を迎えつつある今日近頃。①②③の事について、総合的に話し合いをしたい。本音で「地球を守るには」を考える。後世に向けて、住みやすくするにはどうしたらいいのか!! 今ならまずは地元から、一丸となって進んで協力をし、明るい世の中を作りませんか。今でしよう。始めるのはー。

農業委員が農地あっせん

高松修さん 環境に配慮し新規就農

炭素循環農法で安全な野菜作り



高松さん(左)と農地を紹介した丸山委員

大分・日出町

全国農業新聞で日出町農業委員の丸山順子さんの活動が紹介されました。丸山委員は新規就農者の相談を受け、農地を紹介するなど、農業委員として新規参入の促進につなげる活動を、積極的に行っています。



情報提供活動は

農業委員会の大切な役割です

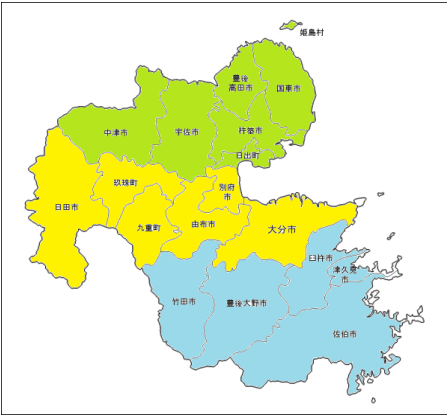
「全国農業新聞」を活用して現場で役立つ「活きた情報」を収集し、農業委員会の最大の使命である「農地利用の最適化」を進めましょう!



ウーマンアグリネットにおおいた研修会のブロック別開催について

令和4年度より、研修会を県内3ブロックに分け開催します。開催場所を各ブロック内のいずれかの市町村にすることで、ブロック内会員の移動距離を縮め、参加しやすいようにします。もちろん、対象ブロック以外の会員の積極的な参加も大歓迎です。

研修会の開催市町村や内容については、みなさまの意見を参考に、対象ブロック役員を中心に協議し決定する予定です。「こんな研修会がしたい」などご意見がありましたら、お気軽にお寄せください。これまで以上に参加しやすい研修会の開催を目指しますので、是非、積極的な参加をお願いします。



- Aブロック: 中津・宇佐・豊後高田・国東・姫島・杵築・日出
- Bブロック: 別府・大分・由布・日田・玖珠・九重
- Cブロック: 豊後大野・竹田・臼杵・津久見・佐伯

今後の研修会開催予定
 Aブロック…令和4年度
 Bブロック…令和5年度
 Cブロック…令和6年度
 ※予定は変更されることもあります。

農業委員への女性登用の推進について

「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)において、農業の発展、農村への人材の呼び込みのためには、女性が働きやすく暮らしやすい農村にすることが重要であり、地域をリードする女性農業者を育成し、農村に関する方針政策への女性の参画を推進するため、農業委員に占める女性の割合に関して、左記の目標が定められました。

- ・第5次計画における成果目標 (一部抜粋)
- ・農業委員会において女性の委員が登用されていない組織数を令和7年度までに0にする。
- ・農業委員に占める女性の割合を早期に20%とし、更に令和7年度までに30%を目指す。

これを受け、各都道府県、各市町村において農業委員に占める女性委員の割合の目標を設定するとともに、女性登用の推進のための取組計画を策定することとなりました。また、当該取組計画を推進するため、女性登用の推進に向けた取組が強化されます。なお、設定された目標及び取組計画、取組状況については、毎年調査し、農林水産省のホームページにて公表される予定です。

女性委員のための農業者年金セミナー

全国農業会議所主催の女性委員のための農業者年金セミナーが開催されました。動画はインターネット上で公開されていますので、是非ご覧ください。農業者年金は農業者にとってメリットの多い制度です。多くの方に知っていただけるよう、加入推進に取り組みしましょう！



<公開期間>
3月17日(木)～8月31日(水)

<QRコード>



<URL>
<https://youtube.com/playlist?list=PL1nNugMWqnUWBX0UvpBE9YcikKeQfugVE>

令和3年度(第17回)女性の農業委員会活動推進シンポジウム

女性の農業委員会活動をより一層推進していくためのシンポジウムが、オンラインで開催されました。「農地利用の最適化」を進めるため、女性の積極的な参加が求められています。動画は4月11日(月)まで視聴できます。



<QRコード>



<URL>
<https://youtu.be/qOheunsFFbU>



「女性農業委員登用促進研修会」参加
江藤 国子さん（由布市農業委員会）

コロナの真っ只中の東京に行くのはドキドキしましたが、なかなか越えられない厚い壁に悶々としていたので、気分転換に行ってきました!!

①「女性登用にに向けた実験型協働の試み」

駒澤大学経営学部 渡辺伊津子氏

- ・何がうまくいくかわからない! 重要なのは希望をもって1歩踏み出すこと。
- ・このなかなか女性がいない状況打破するためには、とりあえずなってみよう! そのためには戦略を立てて自己改革、あとはなってみてから考えよう!

②「事例報告」栃木県日光市農業委員会

前会長 星一徳氏

- ・組織で要請に来るタイミングが遅すぎるので、早め早めに行動すること。
- ・やめる時には2人さがすという気持ちで。自分も残りながら増やすのは難しい。
- ・新聞などで活動を見せていくこと。(これは男性も女性も大切ですね)

③情勢報告

「農業における女性の活躍推進について」
男の人と女の人の割合はほぼ同じなのに、意思決定の場に女の人がいないということはおかしい。

あまりの厚い壁に「男の人がなりたがっているんだから任せとけばいいやん」って思いかけていました。が、委員の改選に向けてきちんと戦略をたてて実験型協働を試してみたいと思います!! コロナが落ち着いたらみんな楽しい会議をしたいですね。

令和4年1月11・12日、東京で「女性農業委員登用促進研修会」が開催されました。
女性委員の多彩な活動の展開と農業委員会活動の活性化を目的に実施された研修会に、本会からは江藤副会長（由布市農業委員）が参加しました。

【令和3年】

- 4月23日 第1回役員会(ホルトホール)
- 6月21日 スキルマスター研修会第1回(アートホテル大分)
- 7月13日 スキルマスター研修会第2回(別府豊泉荘)
- 7月30日 通常総会(書面議決)
- 8月17日 スキルマスター研修会第3回(アートホテル大分)
- 10月29日 第2回役員会(土地改良会館)
- 11月24日 令和3年度農業者年金加入推進特別研修会(別府)
- 12月23日 府県組織ブロック別会長会議(Web会議)

【令和4年】

- 1月11日 令和3年度女性農業委員登用促進研修会(東京)
- 1月12日 令和4年度全国農業委員会女性協議会総会(東京)
- 2月9日 第3回役員会(農業会館別館)
- 3月 『VOCE』発刊
(スキルマスター研修は10~12月、1~3月にも実施)

『VOCE』の編集委員を設置します

令和4年度より、『VOCE』の企画や記事の作成、収集のとりまとめなどをする編集委員を設置します。研修会A・B・Cブロックごとに1名ずつの計3名、1年交代を予定しています。紙面に落とし込む作業は事務局が行います。『VOCE』を通して、県内の女性農業者の活動を応援しましょう。一緒に作業をしてくれる方、よろしく願います!



農業会議 新任職員紹介

あべ えみ
阿部 恵美



「担当事業」
・農業者年金
・全国農業新聞
・ウーマンアグリ
ネットおおい

仕事と子育てに奮闘する毎日です。よろしく願います。

【令和4年】

- 5月頃 Aブロック研修会開催(国東市予定)
- 6月~7月 総会開催

行事予定

【編集後記】
今年度もコロナの影響で自粛を余儀なくされる日々が続きました。コロナ禍で思うような活動ができなかった分、今回の『VOCE』は内容を充実させての届けです。いかがでしたか。
来年度はコロナの収まり具合を見計らって色々な活動を企画したいと思いますので、積極的な参加、またご意見等お願いいたします!
最後に今回声を届けてくれた会員さん、ありがとうございます!

事務局(あ)

農業委員・推進委員 としての活躍を期待しています！

農業委員会は、地域の農業・農村の発展のため、市町村に設置されている行政委員会で、農業委員と農地利用最適化推進委員で構成されます。

農業委員は、農業者等の推薦・募集の結果を尊重して、市町村長の議会の同意を得て任命し、推進委員は、農業委員会が委嘱します。いずれも女性や青年農業者、認定農業者などの担い手、地域農業・農村の振興に取り組む住民なども含めた多様な人材が選ばれて、以下の活動を進めています。

1. 農地を守り活かす取組み

優良農地の確保と有効利用のための法令業務の執行、農業者の今後の経営意向等の聞き取りや地域の話し合い等での情報提供をしています。

2. 担い手の育成

地域の中心となる認定農業者等の経営体への農地の利用集積、経営改善の支援、農業・農業者に関する情報提供をしています。

3. 農政活動

農地利用の最適化に取り組む中で、現場の意見を幅広くくみ上げ、関係する行政機関等に意見を提出しています。

4. 地域活動

地産地消への取組や食育など、地域の実態に応じた農業・農村の活性化を目指しています。

5. 情報活動

農業者の経営と暮らしを応援するため、全国農業新聞と全国農業図書の発行をはじめ、農地情報、農業や地域の情報などを提供しています。

次号は貴女の
声をお待ちし
てます！



【編集・デザイン・構成・発行】
ウーマンアグリネットおおいた事務局

令和4年3月発行